

<報道関係者各位>

2018年4月17日

一般社団法人 伝統を未来につなげる会

普請文化フォーラム2018

～未来へ継承すべき伝統建築・庭園・石垣技術～

4/28（土）開催のお知らせ
（会場：明治大学アカデミーホール）

2020年ユネスコ無形文化遺産登録を「普請文化」として申請するオールジャパンムーブメント

一般社団法人 伝統を未来につなげる会（会長：中村昌生）は4月28日（土）、明治大学アカデミーホールにて「普請文化フォーラム2018～未来へ継承すべき伝統建築・庭園・石垣技術～」を開催いたします。

伝統を未来につなげる会は、日本の優れた木造建築技術や庭園・石垣の技術をユネスコ無形文化遺産（人類の無形文化遺産の代表的な一覧表）に登録するための運動を推進してきました。今回のフォーラムでは、伝統技術の継承・活用がもたらす多様な価値と可能性について、東京大学名誉教授の内田先生をはじめ、各分野を代表する先生方にお話いただきます。また特別講演では、2年前の震災で築城以来最大の危機といわれるほどの被害を受けた熊本城の再生に向けた取り組みを、「特別史跡熊本城跡保存活用委員会」の委員を務める千田先生にお話いただきます。

さらに、今年の2月に開催された無形文化遺産保護条約関係省庁連絡会議において「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」が2020年に登録されるユネスコ無形文化遺産の提案案件として決定したことを受け、文化庁から発表された選定保存技術の14件（13団体）に加えて、新築の技術や、日本建築に欠かせない庭園・石垣の技術等を「普請文化」として申請範囲に含めることを要望し、伝統建築に関わる多くの職人や団体が参加していけるよう、呼びかけをしていきます。そして、日本の自然と密接に関連した持続可能な社会を構築し、日本人のライフスタイルの中心としてきた伝統建築技術と文化を世界にも発信していけるようなオールジャパンムーブメントを生み、未来につなげていきたいと考えています。

ユネスコ

無形文化遺産 2020
文化庁提案案件決定

報道関係者の皆様にはぜひご取材および告知のご協力をいただきたく、ご案内申し上げます。

基調講演 「日本建築の伝統的な価値を巡って」



内田 祥哉 氏

東京大学名誉教授・建築家
東京帝国大学第一工学部建築学科卒業。
通信省、日本電信電話公社を経て、東京大学教授、
明治大学教授、金沢美術工芸大学特認教授・客員
教授、日本学術会議会員、日本建築学会会長を
歴任。工学博士、
工学院大学特任教授、日本学士院会員。

特別講演

「加藤清正の名城 熊本城の大普請」 ～4.16 あの熊本地震から2年～



千田 嘉博 氏

奈良大学教授・城郭考古学者
奈良大学文学部文化財学科卒業。
大阪大学博士国立歴史民俗博物館助教授、奈良大学
学長を歴任。専門は城郭考古学。特別史跡熊本城跡
保存活用委員会の委員を務めるなど全国の城跡調査と
史跡整備に関わる。日本城郭協会理事。

パネルディスカッション 「伝統建築技術の継承・活用で切り拓く日本の未来」

コーディネーター



後藤 治 氏

工学院大学理事長。
1988年文化庁入庁。文化財
保護部（現文化財部）建造物
課、文部技官、同文化財調査
官等を経て現職。
日本建築士会連合会ヘリテージ
マネージャーネットワーク協議会
運営委員長。

パネリスト



島崎 英雄 氏

専門学校 職藝学院 オーバーマイスター
棟梁坂本国一へ弟子入り・修行、島崎工務
店を創業。古民家の再生、古材活用、自然
素材による住まいづくりを実践しつつ、職藝学
院開学当初より職藝教育に携わり、木造建築
における手仕事の基礎技能を指導する。



進士 五十八 氏

福井県立大学学長。造園学者。
ランドスケープ・アーキテクトとして緑のまち
づくり、環境学者として活躍。2007年紫綬
褒章受章。元日本造園学会会長。



小林 正美 氏

明治大学副学長 建築家・都市デザイナー。
丹下健三・都市建築設計研究所勤務後、
ハーバード大学客員教授（2002）、NPO法人
まちづくりデザインサポート理事長、東京都
台東区景観審議会会長、川崎市横須賀市
景観審議会会長。



飯田 泰之 氏

明治大学政治経済学部准教授。内閣府規制
改革推進会議委員、農林ワーキンググルー
プ座長。専門は経済政策、日本経済論。

◆フォーラム概要

【講演名】

「普請文化フォーラム2018～未来へ継承すべき伝統建築・庭園・石垣技術～」

【日時】

2018年4月28日(土)13時～16時半(受付開始12時/開場12時半)

【場所】

明治大学アカデミーホール(東京都千代田区神田駿河台1-1)

【登壇】

- ・基調講演「日本建築の伝統的な価値を巡って」
内田 祥哉(東京大学名誉教授・建築家)
- ・特別講演「加藤清正の名城 熊本城の大普請 ～4.16 あの熊本地震から2年～」
千田 嘉博(奈良大学教授・城郭考古学者)
- ・パネルディスカッション「伝統建築技術の継承・活用で切り拓く日本の未来」
後藤 治(工学院大学理事長)
島崎 英雄(専門学校 職藝学院 オーバーマイスター)
進士 五十八(福井県立大学学長・元日本造園学会会長)
小林 正美(明治大学副学長・建築家)
飯田 泰之(明治大学政治経済学部准教授)

パネルディスカッション コーディネーター
後藤治氏によるフォーラム予告インタビュー記事
https://kino-ie.net/interview_461.html

【URL】

<http://dentoh-isan.jp/meijisym-po-entry>

【主催】

一般社団法人伝統を未来につなげる会

【共催】

伝統木造技術文化遺産準備会
公益社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボ

【後援】

公益社団法人日本建築士会連合会/一般社団法人日本建築学会/全国建設労働組合総連合
明治大学社会連携機構/明治大学震災復興支援センター/公益財団法人竹中大工道具館/
これからの木造住宅を考える連絡会/NPO法人伝統木構造の会/NPO法人日本民家再生協会/
NPO法人緑の列島ネットワーク/職人がつくる木の家ネット/公益社団法人日本左官会議
一般社団法人日本左官業組合連合会/日本漆喰協会/奈良県/京都市/熊本市



【最寄駅からのアクセス】

- JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅
下車徒歩約3分
- 東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅
下車徒歩約5分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線/神保町駅
下車徒歩約5分

**取材をご希望される場合は、お手数ですが4月25日(水)までに
別紙「取材申込用紙」をFAXいただくか、お電話・メールにてご連絡ください。**

【本リリースに関するお問い合わせ先】

一般社団法人伝統を未来につなげる会(担当者:大江)

TEL: 090-4111-1187 MAIL: info@dentoh-isan.jp URL: <http://denmi.jp/>

【FAX返信先：0561-74-0769】

《取材申込用紙》

一般社団法人 伝統を未来につなげる会
大江 宛

普請文化フォーラム2018
～未来へ継承すべき伝統建築・庭園・石垣技術～

【日 時】 2018年4月28日(土)13時～16時半(受付開始12時)

【場 所】 明治大学アカデミーホール(東京都千代田区神田駿河台1-1)

事前取材 告知記事掲載

当日取材

媒体名		
御社名		
部署名		
ご芳名		
連絡先	TEL	FAX

<備考欄>ご取材につきご要望・ご質問等ございましたら、ご記入ください。

※大変お手数ではございますが、会場準備の都合上、ご取材いただける場合は4/20(金)17時までに本紙をFAXいただくか、お電話・メールにてご連絡くださいますようお願い申し上げます。